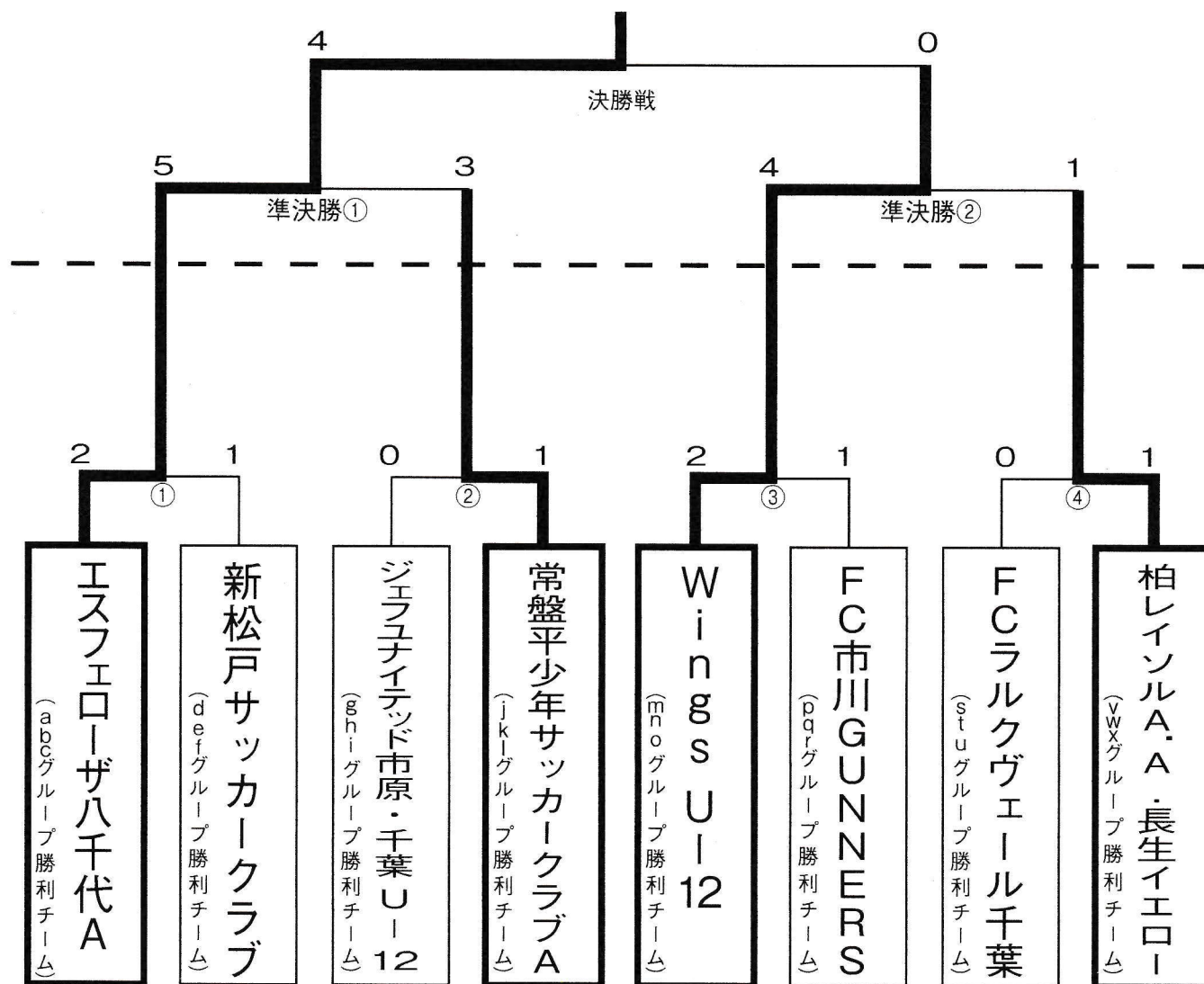


令和元年

第34回千葉県少年サッカー選手権4年生大会 <試合結果>

優勝

エスフェローザ八千代A



優勝 エスフェローザ八千代A

準優勝 Wings U-12

第3位 常盤平少年サッカークラブA

第3位 柏レイソルA.A.長生イエロー

マッチレポート



マッチコミッショナー	主 審	運営責任者

大会名	令和元年度 第34回千葉県少年サッカー選手権4年生大会 決勝戦													
日時	2019年12月01日		(日)	試合形式		40分		会場名		浦安市明海球技場				
天候	晴			気温	14.2℃		湿度	25.0%		WBGT	9.1℃	ピッチ状態	観衆数	
マッチコミッショナー				副審1	菊池 博紀 氏			第4審判員	檜 隆晃 氏			芝	人工芝	200人
主審				真殿 定幸 氏	副審2	岸本 彰彦 氏			記録担当	小島康夫／田中俊光			表面	

エスフェローザ八千代 A										4		3 1 2nd 0 3rd 延前半 延後半		0		Wings U-12																												
延長 kickoff			kickoff 12:30			ホ-ル支持率 %			ホ-ル支持率 %										kickoff -			延長 kickoff																						
退場			警告			シュート 延後: 延前: 3rd: 2nd: 1st: 計			得点			選手名			番号			位置			位置			番号			選手名			得点			シュート 計: 1st: 2nd: 3rd: 延前: 延後			警告			退場					
												宮崎 清太			1			GK			GK			12			中田 良忠																	
												曾根 花杏			3									43			仙田 哩月																	
												曾根 花杏			4									45			神崎 理人																	
												朴澤 友慶			6									51			神崎 理人			6			4			2								
												秋山 駿			10									53			佐野 皇成			2			2											
												2			2			4			2			58			康 太			4			3			1								
												1			1			1			1			59			廣瀬 悠太																	
												1			1			1			1			62			今西 悠太																	
																								41			橘 鷹																	
												1			1									42			大西 輝																	
												湯浅 直			9									47			松澤 遼斗																	
												後藤 蓮			16			GK						50			舞原 翔																	
																								54			伊藤 樹																	
																								56			法量 磨																	
																								57			池田 悠																	
																								60			長山 簾																	
																								61			富澤 治																	
																								63			横山 瑠紀																	

令和元年度 第34回
千葉県少年サッカー選手権 4年生大会（8人制サッカー）

浦安市明海球技場

決勝戦 12:30 開始
エスフェローザ八千代・A VS Wings U-12
4 対 0

本大会の決勝戦のカードは、赤色のシャツのエスフェローザ八千代・Aと、緑色のシャツのWings U-12の対戦となった。
試合は、エスフェローザ八千代・Aの10番秋山君のキックオフで試合が開始され、その右横にいた11番山村君にボールを預け、山村君はそのままWings U-12の中央をドリブルで突破を試みる…という形で幕が下ろされた。

試合全般の印象は、エスフェローザ八千代・Aのドリブルを中心とした攻撃と、そのドリブルを阻止して奪ったボールを前線にロングフィードして相手ゴールを脅かすWings U-12の攻撃…という感じであった。

しかしながら、ドリブルしているボールは細かいタッチでコントロールされているので完全に奪取することが難しく、Wings U-12の選手が守ってつづいたボールは、良い距離間で後ろからフォローしていた同じエスフェローザ八千代・Aの選手がマイボールにして、再びドリブルやパスを回すことが多く、Wings U-12の方が相手の攻撃に悩まされていた印象だった。

■エスフェローザ八千代・Aの1点目

前半2分。繰り返される中盤の攻防の中で、エスフェローザ八千代・Aの左DFの6番朴澤君がダイレクトで前線の10番秋山君にグランダーのパスを通した。秋山君はすかさず前を向いて中央に向けてドリブル開始。相手中盤の二人を抜くが、ペナルティエリアに侵入する直前にWings U-12の62番今西君に阻まれる。ただ、今西君のクリアが小さかったため、エスフェローザ八千代・Aの14番吉田君がそのボールを拾い、ペナルティエリアの中央にいる11番山村君へ素早くパスを送った。山村君はペナルティエリアの中央から、ゴールを守るWings U-12のDFを避けて左へドリブルし、複数いた相手DFの隙間を見つけ右足のトゥーキックのような形でゴールの右隅へシュートし、それが先制点となった。

■Wings U-12の攻撃

Wings U-12の攻めの形としては、中盤でキープしたボールをダイナミックに前線にロングフィードし、51番神崎君に任せてゴールに迫ることや、中盤から良い距離間のパスをつなぎ51番神崎君に預け、ボールを受けた神崎君が右サイドのスペースにパスを出し、そのボールを58番大森君が駆け上がって追いつき、そのままシュートを放ったり、クロスを上げたりする形が多かった。

前半9分には、相手陣地内のセンターサークル付近で得たフリーキックを、51番神崎君が直接シュートを狙うが、惜しくもクロスバーの上をはじきゴールにならなかった場面もあった。シュート数はエスフェローザ八千代・Aと互角ではあったが、枠外シュートが多く、最終的なシュートの精度の差が試合の流れに影響したと思われる。

■エスフェローザ八千代・Aの3点目

前半14分。自陣のセンターサークル付近でエスフェローザ八千代・Aの11番山村君がボールを収めると、そのまま中央をドリブルで相手ゴール目指して突き進んだ。ペナルティエリアに入る前にWings U-12の43番仙田君が体を入れてドリブルしている山村君のバランスを崩したが、ルーズになったボールはエスフェローザ八千代・Aの14番吉田君がキープし、2～3mほど右斜め前に向かってドリブルしてから、ペナルティエリアの手前にポジションを取っていたエスフェローザ八千代・Aの20番西田君にパスを送った。西田君は右サイドバックのポジションだが、11番山村君が中央をドリブルしている間に自分は前線に駆け上がっていた。西田君は左足でチョンとボールをつついて目の前にいた相手DFを右にかわしシュートコースを作ってから力強くシュートを打った。シュートに反応したゴールキーパーの手の届かないゴールの左上に突き刺さり3点目となった。

後半も、試合の展開は前半とほぼ同等であったが、後半の序盤は、得点を狙ってWings U-12の攻撃がやや目立ち、時として冴える場面があったが、相手に自由にシュートを打たせないエスフェローザ八千代・Aの守備陣が集中していた。

互いに高いレベルの個のテクニックを持ち、スピード感のある見事なチーム同士の決勝戦であったが、最後までドリブル攻撃の姿勢を変えず、休みなく繰り返し、相手にボールをつつかれても後ろから来た選手がボールを拾い直し、相手ゴールを脅かす回数の多かったエスフェローザ八千代・Aには更にレベルの高さを感じた。